

現代システム科学域に関するFAQ

作成日：2025年7月

No	質問項目【関連する学類】	回答
1	現代システム科学とはどういう意味か。	現代社会は、すべての人類が豊かな生活を行い続けることが持続不可能と言われている。 「現代社会を持続可能な社会に変革するための科学」と言う意味で「現代システム科学」を定義した。 具体的には、自然システム（natural system）、社会システム（social system）、人間システム（human system）、情報システム（information system）から成る「持続可能システム（Sustainable System）」について科学的に取り組む学問である。
2	現代システム科学域における「学域」と「学部」の違いは何か？	現代システム科学域以外の11の学部は、それぞれの学問領域を基礎として教育研究理念が定められている（学問領域志向）が、現代システム科学域は持続可能な社会を実現するという目的を教育研究理念の根本に置いている（目的志向）、そのために文理の区別なく多岐にわたる学問分野を横断的（学際的）に学んでいくので、唯一の学域となっている。
3	現代システム科学域は理系か文系か。	現代システム科学域の教育研究理念である持続可能な社会の実現のためには、理系・文系それぞれのアプローチおよび両者を組み合わせたアプローチが必要である。そのため、例えば理系（または文系）科目で入学した学生も、入学後は文系（または理系）の専門科目も学び、文系（または理系）の教員の卒業研究を行うこともできる。 また、文系科目で入学した学生が、理系（製造、開発など）の就職をしたり、理系科目で入学した学生が文系の就職（営業、経理など）の就職をすることもある。
4	学域単位の入試で入学したら希望する学類を選択できるのか。	学域単位入学生の学類の決定は第1年次の3月末までに行う。なお、志望者多数の学類では、選抜を実施する場合がある。選抜は1年次の成績に基づいて行う。
5	海外の留学制度や交換留学・インターンシップ制度等について	・学域共通科目として海外インターンシップ（タイ、カンボジア、ベトナム、スロベニア）がある（2単位取得）。 ・教育福祉学類専門科目として教育福祉国際インターンシップ（ニュージーランド、韓国等）がある（2単位取得）。
6	キャンパスについて	・中百舌鳥キャンパスで実施する(2025年度後期以降、基幹教育は森之宮キャンパスで実施予定)
7	【知識情報システム学類】システム開発に関心があるが、工学部ではなく現代システム科学域に進学すればよいか。	現代システム科学域 知識情報システム学類では、持続可能な社会を実現するための手段として、人工知能やIoTなどの情報通信技術を活用し、課題解決のための情報システムを構築するための知識を学ぶことができるため、システム開発に関心がある学生の入学を歓迎する。情報科学的な視点からだけではなく、社会科学、生産システム、ヘルスケア、教育などの応用分野を加えた学際的な視点からの学びがあるところが工学部 情報工学科との違いである。
8	8 【知識情報システム学類】大学院では、情報学は情報学研究科でのみ学ぶことになるのか。 (大学では「現代システム科学域 知識情報システム学類」と「工学部 情報工学科」で、情報学は学べる。)	大学院では情報学は情報学研究科で専門的に学ぶことになる。情報学研究科では、工学部 情報工学科および現代システム科学域 知識情報システム学類の卒業生を中心とした、異なる学部等からの卒業生が、それぞれの学部での学びを礎として自分自身の能力をさらに発展・進化させることができるよう、多様なカリキュラムを提供している。
9	9 【心理学類】「現代システム科学域 心理学類」と「文学部 人間行動学科 心理学コース」、「生活科学部 人間福祉学科」の心理関連授業の違いは何か。	・現代システム科学域・心理学類では「実験心理学」と「臨床心理学」の両方について、共通する基礎を学び、いずれかの学びを専門的に深めていくことができます。また、認知科学、環境心理学などの心理学関連分野や社会学、情報学などの隣接科学分野も学ぶことができます。なお、公認心理師国家試験受験資格取得のためのカリキュラムを用意しているのは心理学類のみですが、心理学類において公認心理師国家試験受験資格取得のための心理実習等のカリキュラムを履修できるのは15名までとなっています。 ・文学部・心理学コースでは、人の心の動きを人や動物の実験・調査・観察などの客観的な指標を通して科学的に明らかにしていくことを目的とした「実験心理学」を中心に学ぶことができます。 ・生活科学部・人間福祉学科では、心の問題を抱えた人々に対する診断・治療などを目的とした「臨床心理学」を中心に学ぶことができます。
10	10 【環境社会システム学類】「環境」が入っている学類・学科があるが、違いは何か。 ・現代システム科学域 環境社会システム学類 ・農学部 緑地環境科学科 ・生活科学部 居住環境学科	・環境社会システム学類では、自然システムの持続可能性を理解するために必要となる自然環境学、社会システムそのものの成り立ちや変化を理解するために必要となる社会環境学、環境と調和した社会システムを構築するために必要となる環境哲学・政策学の観点から、領域横断的応用力とシステムの思考力を発揮し、課題解決を図ることによって、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成する。 ・緑地環境科学科では、都市圏の持続可能な発展や循環型社会の構築、生物文化多様性の保全などを目指して、農地や自然地、都市緑地とその周辺環境を対象に、緑地環境を構成する「大気」「水」「土」「生物」と「人間活動」の関わりについて、緑地学や農業工学、生態学や環境学などの幅広い学問分野から多角的に学び、「緑と環境のスペシャリスト」に必要な実践的で幅広い知識と技術を身につける。 ・居住環境学科では、よりよい居住環境の実現のために居住空間を中心に生活機器やインテリア、建築、まちづくりに至るまで、企画、デザイン、管理を行うことができる専門家を養成する。